

黒潮は、房総沿岸に接岸して流れていました (図2)。

水温は、銚子・九十九里, 外房海域いずれも平年よりやや高め基調でした (表1)。

【詳細】

水深0, 50, 100, 200mの水温は, 銚子・九十九里海域の水深100mは平年並, それ以外はいずれも平年よりやや高めでした (表1)。

房総沿岸では, 海面から水深50mにかけて黒潮系水とは異なる高水温・低塩分水 (27℃以上, 34.2PSU以下) が見られました (図3-6)。これは, 利根川河川水あるいは鹿島灘から南下した低塩分水が気温や日射により高水温化したものと考えられます。また, この海域の下層 (水深400~500m) でしばしば見られる低水温・低塩分水は, 今月は見られませんでした (図5~6)。

黒潮は, 房総沿岸に接岸して流れ, 黒潮縁辺付近では北東~東北東へ向かう2~3ノットの流れが見られました (図2)。

クロロフィル濃度は, 水深10mでは太東岬付近が3μg/L以上になっていました。一方, 水深50mではやや沖に1μg/L程度の海域が見られました (図7)。

勝浦沖キンメダイ漁場では, 水深170m以深の水温は前年と同様でした。一方, 銚子沖のキンメダイ漁場では, 水深50~150mの水温が前年より2~3℃低くなっていました (図8)。

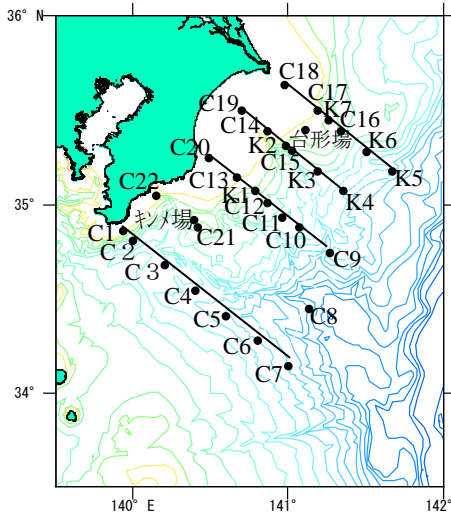


図1 調査点 (C18, C19は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線

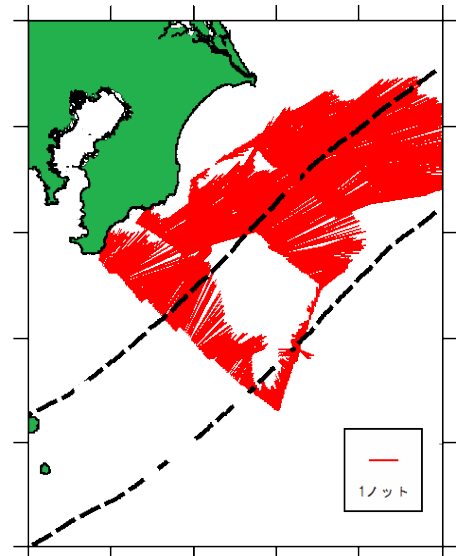


図2 黒潮流路 (破線) と流況

表1 海域別平均水温 (℃) と評価※

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	27.2 やや高め	21.4 やや高め	16.7 平年並	14.1 やや高め
外房	28.0 やや高め	22.4 やや高め	18.4 やや高め	14.8 やや高め

※ 下記により評価しています。

- ・使用している観測点 銚子・九十九里海域：C14~20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点
- ・方法 下式で算出される値の高低で評価しています。

$$\frac{(x - x_{30})}{\sigma_{30}}$$

- x : 今年の平均水温
- x<sub>30</sub> : 直近30年の平均水温
- σ<sub>30</sub> : 直近30年の標準偏差

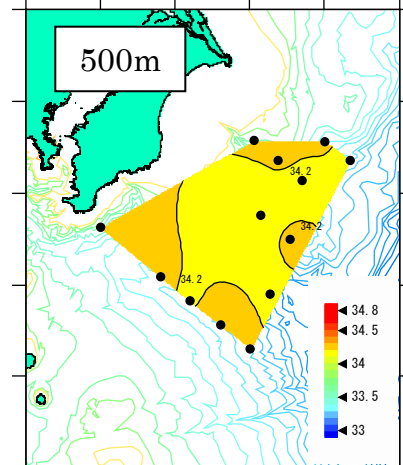
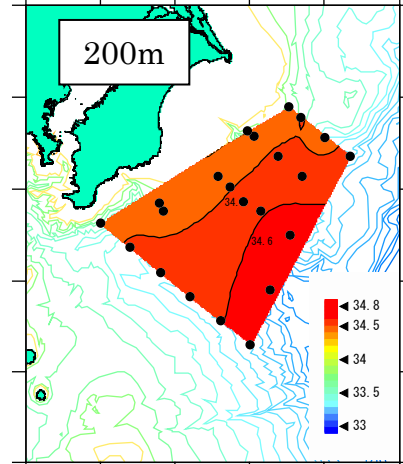
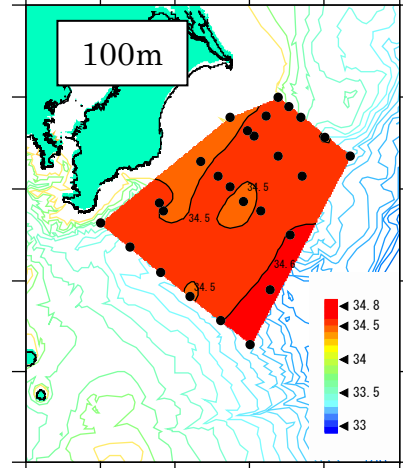
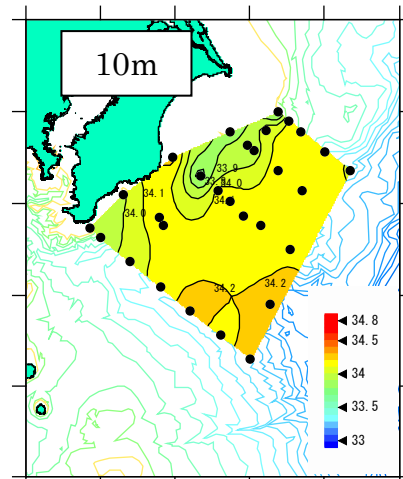
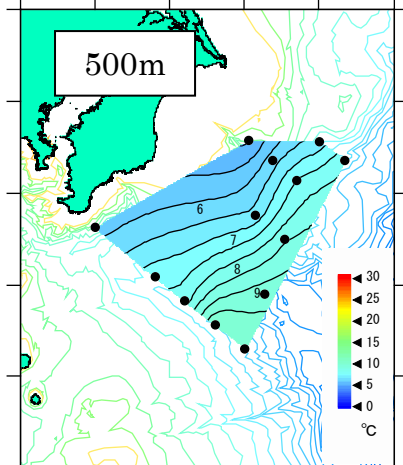
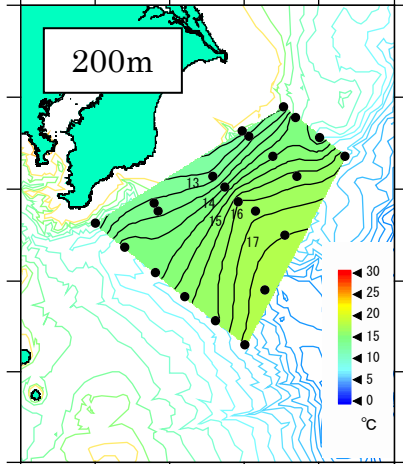
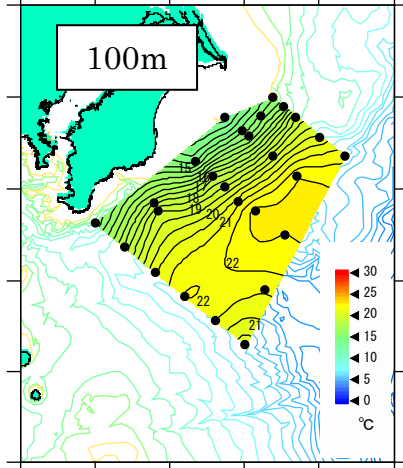
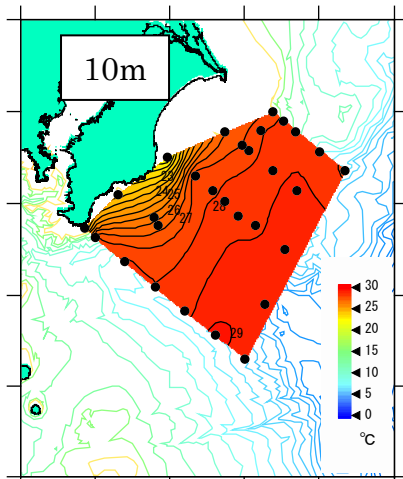


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

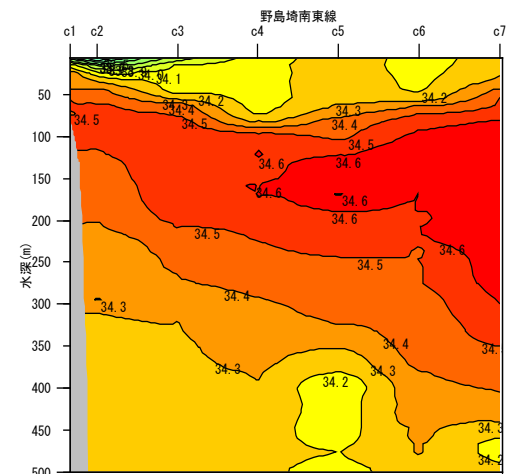
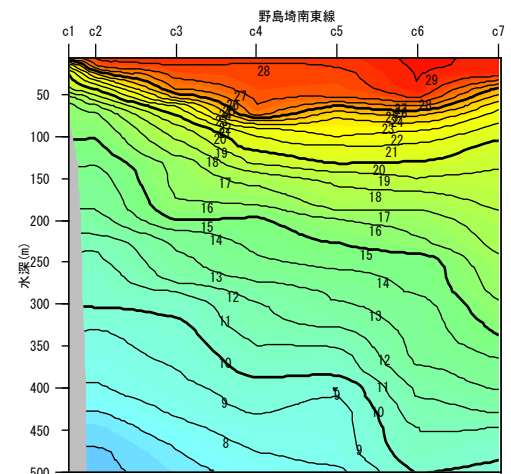
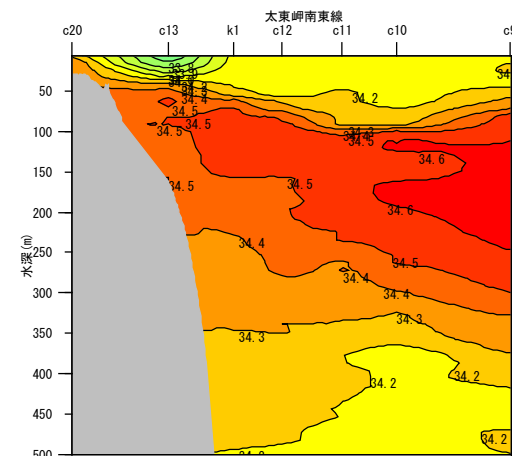
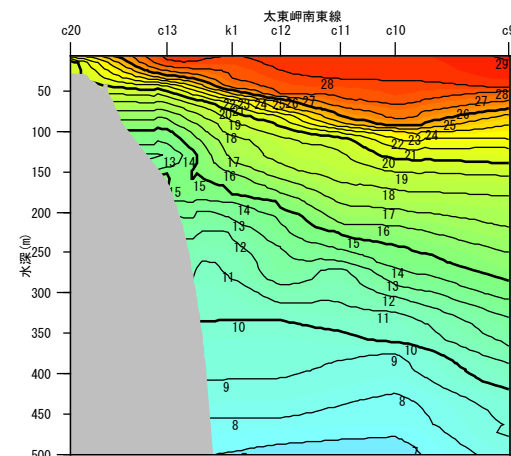
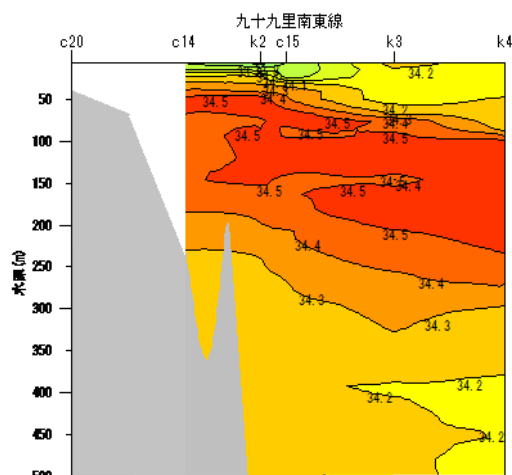
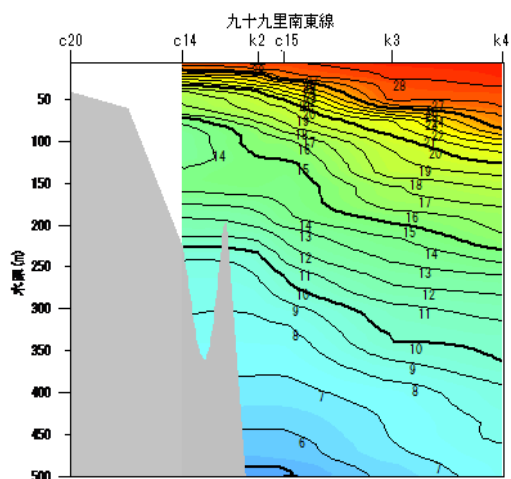
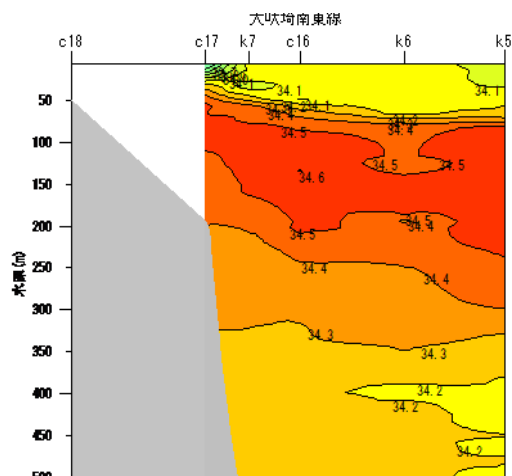
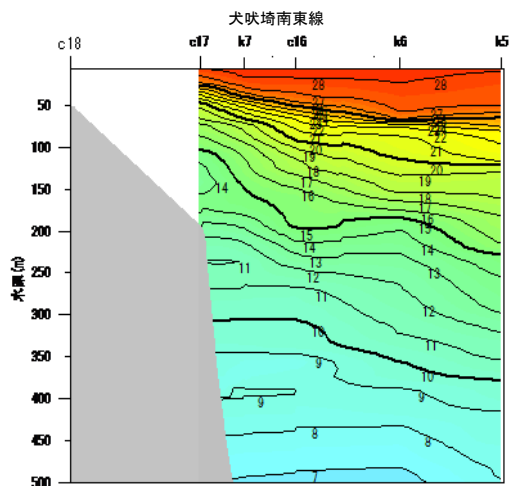
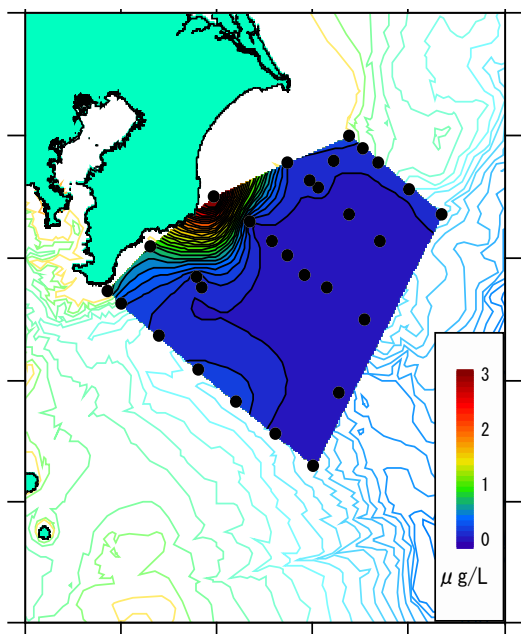


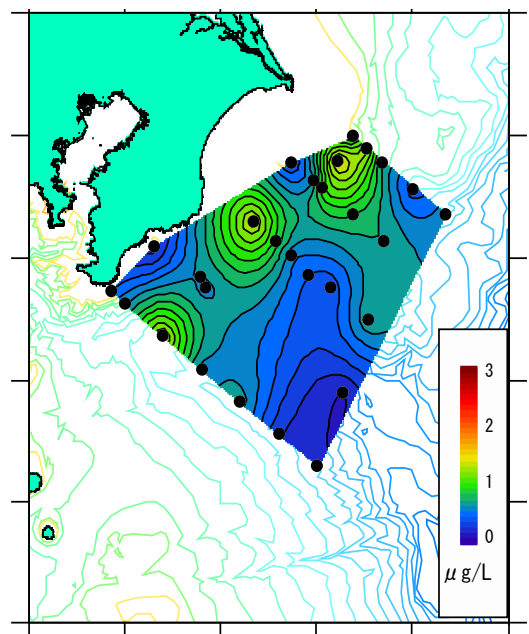
図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

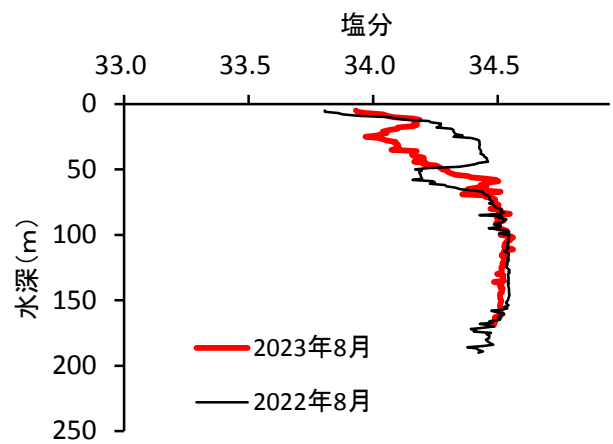
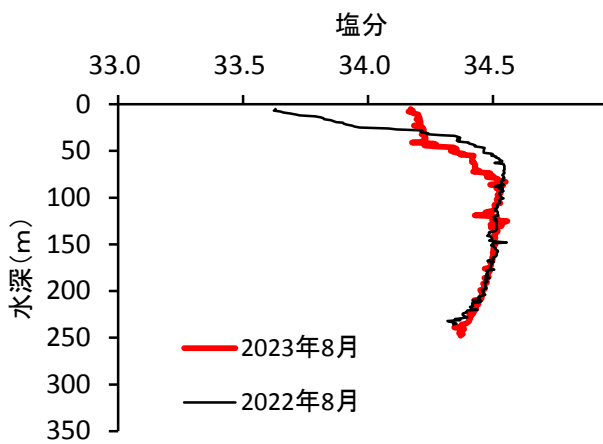
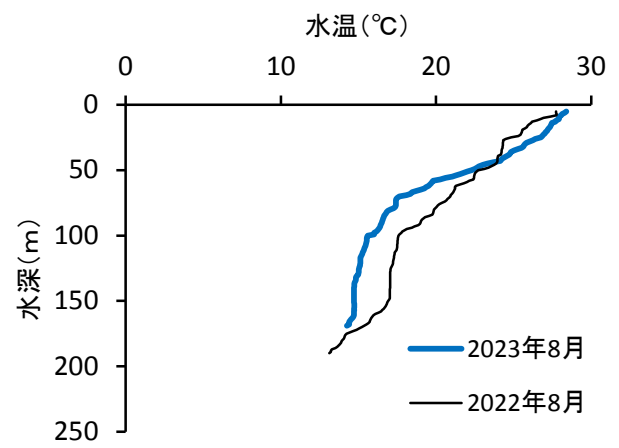
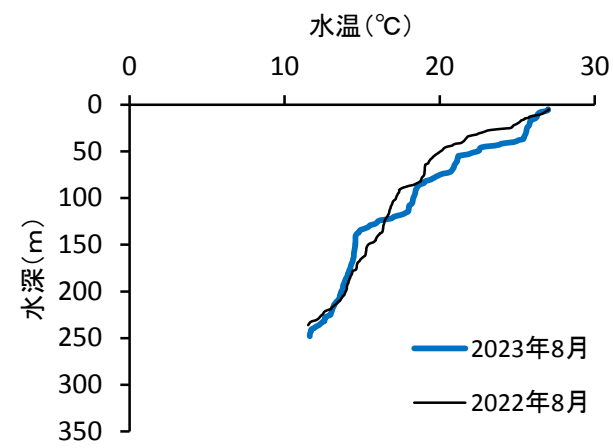


10m



50m

図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖キンメ場 (台形場)

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)